

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-243344

(43)Date of publication of application : 02.09.1994

(51)Int.Cl.

G07G 1/12

G06F 15/21

(21)Application number : 05-028004

(71)Applicant : TOKYO ELECTRIC CO LTD

(22)Date of filing : 17.02.1993

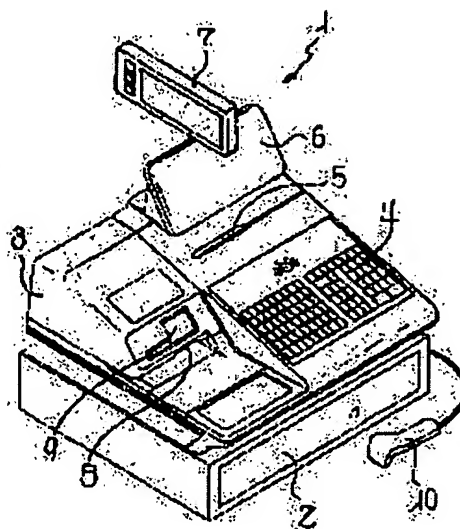
(72)Inventor : OTA MITSUAKI

(54) MERCHANDISE SALES DATA PROCESSOR

(57)Abstract:

PURPOSE: To improve service for a specified customer by displaying a commercial message based on the personal data of the specified customer stored in a specified customer personal information storage means by using a specified customer message display means.

CONSTITUTION: When the member's card of the specified customer is read and inputted from a card reader 5 or the member's number of the specified customer is inputted from a keyboard 4 and the specified customer is identified and inputted by a CPU, an electronic cash register 1 reads the personal data of the specified customer from a RAM which previously stores the personal data of respective specified customers. When the message select key of a customer side display 7 is inputted by the specified customer after the specified customer is identified and inputted, in place of a commercial message by customer classes, the commercial message corresponding to the inputted message select key is displayed by the CPU to be operated as the specified customer message display means.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

08.10.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

3455558

[Date of registration]

25.07.2003

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-243344

(43)公開日 平成6年(1994)9月2日

(51)Int.Cl.⁵

G 0 7 G 1/12

G 0 6 F 15/21

識別記号

3 4 1 A 8921-3E

3 1 0 Z 8724-5L

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平5-28004

(22)出願日 平成5年(1993)2月17日

(71)出願人 000003562

東京電気株式会社

東京都目黒区中目黒2丁目6番13号

(72)発明者 太田 光昭

静岡県三島市南町6番78号 東京電気株式

会社三島工場内

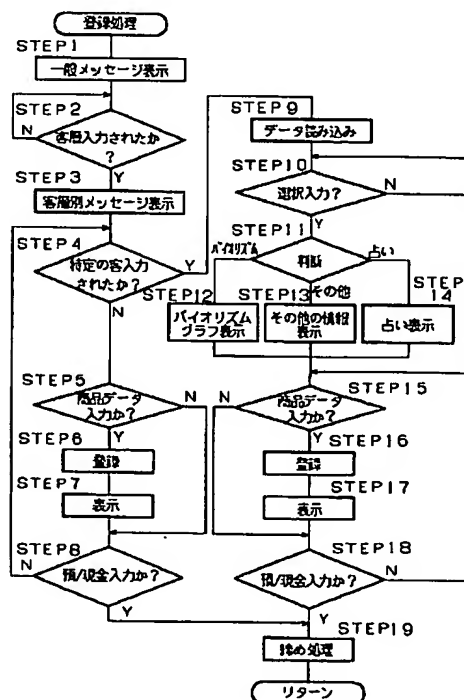
(74)代理人 弁理士 柏木 明 (外1名)

(54)【発明の名称】 商品販売データ処理装置

(57)【要約】

【目的】 各特定客に応じた商業メッセージを表示することを目的とする。

【構成】 入力手段により入力された商品データに基づいて登録処理を行なう商品販売データ処理装置において、予め各特定客のデータを記憶している特定客個別情報記憶手段と、各特定客を識別して入力する特定客識別入力手段と、この特定客識別入力手段により特定客が識別されて入力されると前記特定客個別情報記憶手段に記憶されているその特定客の個人データに基づいた商業メッセージを表示する特定客メッセージ表示手段とを備えた。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項1】 入力手段により入力された商品データに基づいて登録処理を行なう商品販売データ処理装置において、予め各特定客のデータを記憶している特定客個別情報記憶手段と、各特定客を識別して入力する特定客識別入力手段と、この特定客識別入力手段により特定客が識別されて入力されると前記特定客個別情報記憶手段に記憶されているその特定客の個人データに基づいたコマ

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、商店等で使用される電子キャッシュレジスタ等の商品販売データ処理装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より商店等では、会員登録している客である特定客に対して値引き等の特別なサービスの提供を行うことがある。なお、この特定客には一般にその特定客を個人ごとに識別する情報等が磁気的に書き込まれた会員カード（磁気カード）が発行されている。

【0003】ところで、客に対する商品登録時に、従来より商品の単価や合計等の取引情報とは別に各種宣伝等のコマ

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、このコマ

【0005】

【課題を解決するための手段】入力手段により入力された商品データに基づいて登録処理を行なう商品販売データ処理装置において、予め各特定客のデータを記憶している特定客個別情報記憶手段と、各特定客を識別して入力する特定客識別入力手段と、この特定客識別入力手段により特定客が識別されて入力されると前記特定客個別情報記憶手段に記憶されているその特定客の個人データに基づいたコマ

【0006】

【作用】特定客識別入力手段で特定客が識別されて入力されると、特定客個別情報記憶手段に記憶されているその特定客の個人データに基づいたコマ

【0007】

【実施例】本発明の一実施例を図1ないし図5に基づいて説明する。本実施例は電子キャッシュレジスタに適用したものであり、この電子キャッシュレジスタ1は、図2に示すように、ドロワ2上に形成されている本体ハウジング3の上面手前側にキーボード4が配置され、その後方にカードリーダー5及びキャッシャー側ディスプレイ6が配置され、その背面に客側ディスプレイ7が支柱に支持された状態で配置されている。さらに、前記本体ハウジング3の左方にはレシート発行口8及びジャーナル確認窓9が設けられている。また、この電子キャッシュレジスタ1にはバーコードの読取入力に使用される入力手段であるハundsキャナ10が柔軟なコードに接続されて設けられている。

【0008】前記キーボード4は、図3に示すように、テンキー11、会計の際に入力する預／現計キー12、主婦や女子学生等の客層の入力を行なう客層キー13等の各種入力キーが設けられており、さらにその上部に、動作モードを設定するモードキー14が一体として設けられている。

【0009】また、前記客側ディスプレイ7には、図4に示すように、大型の表示部15が設けられており、この表示部15の左方に、パイオリズム、その他、占い等のメッセージ選択キー16が設けられている。このメッセージ選択キー16は会員カードが前記カードリーダー5で読取り入力されるか、前記キーボード4から会員ナンバーが入力された場合に作動するようにされている。また、前記表示部15は、上2／3の領域がコマ

【0010】つづいて、この電子キャッシュレジスタ1は内部的には、図5のブロック図に示すように、ROM17、RAM18及びCPU19等からなるマイクロコンピュータに各種装置を接続した構成となっている。具体的には、前記ドロワ2、レシート及びジャーナルを印刷出力するレシートジャーナルプリンタ20、前記モードキー14、前記キーボード4、前記キャッシャー側ディスプレイ6、前記客側ディスプレイ7、前記ハundsキャナ10等がそれぞれI／Oポート21を介して前記CPU19に接続されている。さらに、この電子キャッシュレジスタ1の前記RAM18は、特定客個別情報記憶手段として予め各特定客の個人データを記憶している。

【0011】そして、この電子キャッシュレジスタ1では、各特定客を識別して入力する特定客識別入力手段が前記カードリーダー5や前記キーボード4及び予め定められているプログラムに従って動作する前記CPU19により形成されており、特定客の個人データに基づいてコマ

手段が前記客側ディスプレイ7及び予め定められているプログラムに従って動作する前記CPU19により形成されている。

【0012】このような構成において、この電子キャッシュレジスタ1では、例えば、客が持ち寄った商品のバーコードをキャッシュャーがハンドスキャナ10で読取入力すると、このバーコードデータに基づいて商品の単価等の商品情報が商品ファイルから選出されると共にRAM18内に登録され、さらに、この商品の単価等の取引情報がディスプレイ6、7で表示される。そして、この登録処理が終了するとディスプレイ6、7に合計金額等が表示されるので客やキャッシュャーはそれらを視認しながら支払や釣銭の授受を行なうことになる。

【0013】ここで、この電子キャッシュレジスタ1では、商品の登録に先だって一般的なコマースメッセージが客側ディスプレイ7の表示領域15aに表示されている。そして、このコマースメッセージはキャッシュャーが客を視認して客層キー13を入力することにより主婦や女学生等のその客に対応したコマースメッセージに変えられる。さらに、この電子キャッシュレジスタ1では、特定客から提示された会員カードをキャッシュャーがカードリーダー5で読取入力したり、キャッシュャーがその会員ナンバーをキーボード4から入力して特定客が識別されて入力されると、この特定客の個人データに基づいたコマースメッセージに変えられるようになっている。なお、この個人データに基づいたコマースメッセージはその特定客が客側ディスプレイ7のメッセージ選択キー16を入力した時点で表示されるようになっている。

【0014】そこで、このような電子キャッシュレジスタ1の処理動作を図1に示すフローチャートに基づいて以下に詳述する。まず、モードキー14を操作して客が買い上げた商品の会計等を行なう登録モードに動作モードが設定されると、この電子キャッシュレジスタ1は、予め設定されている一般向けのコマースメッセージを前記客側ディスプレイ7の表示領域15aに表示し（ステップ1）、客層キー13の入力待ちとなる（ステップ2）。そして、キャッシュャーにより会計を行なう客の客層が客層キー13によって入力されると、この客層に応じたコマースメッセージを一般向けのコマースメッセージに代えて表示領域15aに表示する（ステップ3）。このコマースメッセージは、客層別に予め設定されており、例えば、客層が主婦であれば家庭用品の宣伝等を表示し、女子学生であれば学習用品の宣伝等を表示する。

【0015】そして、預／現計キー12が入力されるまで（ステップ8、18）商品の登録処理を繰返し行なう（ステップ5～7、ステップ15～17）。この登録処理では、ハンドスキャナ10で読取入力したバーコードデータに基づいて商品ファイルからこの商品の商品情報

を選出し、さらに、この商品情報のRAM19への登録や客側ディスプレイ7の表示領域15b及びキャッシュャー側ディスプレイ6に商品の単価等の取引情報を表示することが行なわれる。

【0016】ここで、この電子キャッシュレジスタ1は、カードリーダー5から特定客の会員カードが読取入力又は、キーボード4から特定客の会員ナンバーが入力されて、特定客識別入力手段として動作するCPU19により特定客が識別されて入力されると（ステップ4）、予め各特定客の個人データを記憶しているRAM18からその特定客の個人データの読み込みを行なう（ステップ9）。この個人データは、例えば氏名、生年月日、住所、血液型、及び今までの売上金額の累計等が登録されている。ここに例示した個人データは売上金額の累計を除いて会員登録時に登録されたものである。そして、上述のようにして特定客が識別されて入力された後にその特定客により客側ディスプレイ7のメッセージ選択キー16が入力されると（ステップ10）、入力されたメッセージ選択キー16に応じたコマースメッセージが客層別のコマースメッセージに代えて特定客メッセージ表示手段として動作するCPU19により表示される（ステップ11～14）。この際、このコマースメッセージの表示は先に読み込んだこの特定客の個人情報に基づいて行なわれる。すなわち、占いが選択されていると生年月日、血液型に基づいた占い処理が実行されてその結果が表示され、バイオリズムが選択されていると生年月日に基づいてバイオリズムグラフが作成されて表示される。

【0017】そして、登録処理が終了して預／現計キー12が入力されると、締め処理を実行し（ステップ19）、合計金額や釣銭等をディスプレイ6、7に表示する。

【0018】このようにすることで、この電子キャッシュレジスタ1では、特定客に対してその個人情報に基づいたコマースメッセージを表示することができるので、特定客へのサービスの向上に寄与することができ、さらに、一般の客との差別化をより図ることができ、会員登録を促進し会員の増加に寄与することができる。また、この電子キャッシュレジスタ1では、特定客が客側ディスプレイ7のメッセージ選択キー16を入力した時点で個人データに基づいたコマースメッセージを表示するようにしたので、特定客が望まなければ客層別のコマースメッセージが表示されつづけており、プライバシーを保護することができる。しかし、これに限定されるものではなく、特定客を識別して入力した時点で自動的に個人データに基づいたコマースメッセージを表示するようにしても良い。また、本実施例では示さなかったが、特定客が客側ディスプレイのメッセージ選択キー16を入力する前に、例えば、特定客に対する特別割り引き旅行のお知らせ等の特定客全体へのサービス

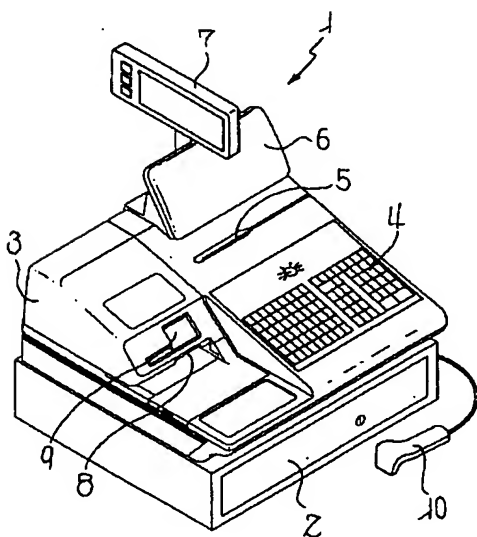
5

情報等を表示するようにしても良い。さらに、本実施例では特定客の個人情報を予め電子キャッシュレジスタ1のRAM18に登録しておくようにしたが、これに限るものではなく、この電子キャッシュレジスタ1が接続されている外部のホストコンピュータに登録しておき、このホストコンピュータからデータを引き出すようにしても良く、さらに、磁気カードである会員カードに登録しておきこのカードから直接引き出すようにしても良い。

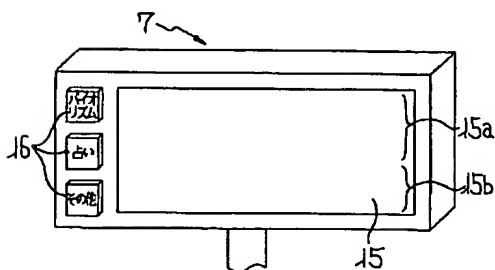
【0019】

【発明の効果】本発明は、入力手段により入力された商品データに基づいて登録処理を行なう商品販売データ処理装置において、予め各特定客のデータを記憶している特定客個別情報記憶手段を設け、各特定客を識別して入力する特定客識別入力手段を設け、この特定客識別入力手段により特定客が識別されて入力されると前記特定客個別情報記憶手段に記憶されているその特定客の個人データに基づいたコマーシャルメッセージを表示する特定客メッセージ表示手段とを設けたことにより、特定客に

【図2】



【図4】



6

対しては個人情報に基づいたきめ細かいコマーシャルメッセージを表示することができるので、特定客へのサービスの向上に寄与することができ、さらに、一般の客との差別化をより図ることができ、会員登録を促進し会員の増加に寄与することができる等の効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の登録モードでの処理動作を示すフローチャートである。

【図2】電子キャッシュレジスタを示す外観斜視図である。

【図3】キーボードを示す正面図である。

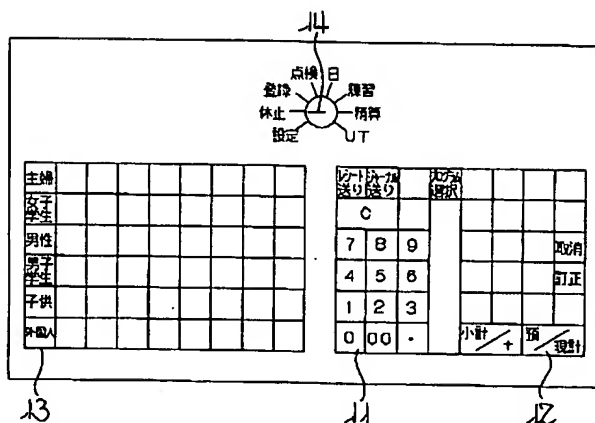
【図4】客側ディスプレイを示す外観斜視図である。

【図5】機器構成を示すブロック図である。

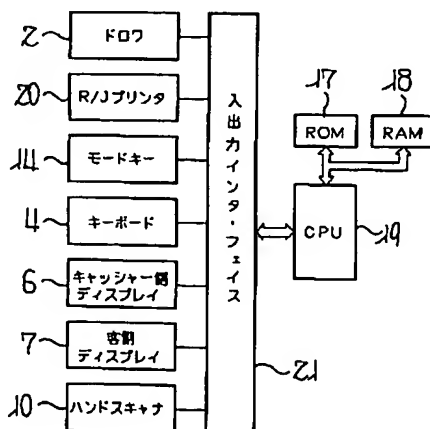
【符号の説明】

- 1 商品販売データ処理装置
- 4, 5, 19 特定客識別入力手段
- 7, 19 特定客メッセージ表示手段
- 17 特定客個別情報記憶手段

【図3】



【図5】



【図1】

